

11月4日、5日に「オンライン会計事務所博覧会」

会計業界デジタル新時代!! 出展企業33社が“事務所変革”を支援

ゼイカイでは、「会計業界デジタル新時代!!」をキャッチフレーズに、昨年に引き続き「オンライン会計事務所博覧会(オンライン会計博)」(無料)を11月4日(水)、5日(木)の2日間、開催します。

オンライン会計博では、バーチャル展示ブースやセミナーを通じ、ポストコロナ時代に活力ある会計業界へシフトチェンジするための情報や最新ツール・技術、商品・サービスなど、幅広く会計業界の進歩をお伝えします。

お気軽にご来場ください。

会計業界が一つになるイベントとして毎年開催し、すでに8年目を迎えた「会計事務所博覧会」。働き方や時間の使い方に多様性が求められるいま、今年もネット上での「オンライン会計博」として開催します。

最大の特長は、現実の展示会に近いオンラインセミナーとバーチャル展示ブース。他のイベントとは一線を画す

オンラインセミナーの内容

配信方式	テーマ
オンデマンド	電子帳簿保存法の改正で税理士の業務はどう変わる?「教えて!超IT税理士先生」LINEでアニメ動画配信 若手税理士が展開する新時代の顧問先フォローと単価アップ手法 なぜ、IT推進はうまく進まないのか。失敗から学ぶクラウド浸透のヒントを解説 会計事務所の成長戦略「脱 属人化!」業務効率化の進め方とツール活用 DX時代の税理士ビジネス オンラインでもできる顧客拡大 「もしもの時、あなたのパソコン・スマホは大丈夫?」~税理士が知らないやばい、デジタル終活~ ~いよいよ第2章~ RPA+AI OCRの時代へ 2022年急加速するデジタル化の波 一気に広がるOnce Onlyの世界 国税庁が打ち出す「税務行政のDX- 税務行政の将来像 2.0」を読み解く。どうなる!?「AIによる税務調査」 顧問先のDXが進む中、会計事務所が顧問であり続けるために必要なこととは 顧問先の「本業支援」に関する今と未来 ~会計事務所と金融機関の連携強化に向けて~ 事務所の成長につながる採用戦略とは?会計事務所の採用における2つの成功事例 インボイスで環境激変!“待たなし”のデジタル化への対応 自分やってみよう! 会計事務所の事業承継 組織活性化に寄与 会計事務所 所長・幹部に必要な「コーチング力、マネジメント力」
YouTubeライブ	テクノロジーで進化する「資産承継」「家族信託」の未来展望 今だからこそ求めたい「本当の付加価値」 国内トップ「税理士コンサル」3人の仕掛人に聞く! 会計事務所が今知るべき「スモールM&A革命~オンラインプラットフォームを活用した新時代の会社承継」 長引くコロナ禍 顧問先支援に特効薬はあるのか? 融資、補助金、税務顧問の課題と展望 若き税理士 プロ経営者としての「思考と展開」 小規模M&Aを実践する経営者が士業に求める承継者支援

※変更の場合がありますので、公式サイトでご確認ください。

インボイス発行事業者の登録申請始まる デジタル前提に実務と業務プロセス見直しを

2023年10月1日のインボイス制度開始に伴い、インボイス制度対応に必要な適格請求書発行事業者の登録申請が、10月1日からスタートしているが、制度周知はこれからだ。

国税庁では、インボイス制度の関するQ&Aをネット上で公開しており、11月には適格請求書発行事業者かどうかの検索ができるサイトをオープンさせる予定だ。

弥生(株)が行った「インボイス制度に関する調査」(8月実施)では、インボイス制度を認知している人のうち、今回の「登録申請」が10月から始まることを知っているとした回答は20.3%に留まる。

また、インボイス制度の準備課題としては、「自社にどのような影響があるかわからない」(38.5%)、「何をどのように進めればよいか分からない」(25.7%)のほか、困った際の相談先1位は「会計事務所」(48.9%)としており、個人事業主には法令改正の際の相談先がないという課題も。

制度の周知に関連し、(株)マネーフォワードでは、事業者がインボイス制度対応の際の「適格請求書発行事業者」に登録するために税務署に提出する「適格請求書発行事業者の登録申請書」の作成サービスを提供している。

また、税理士ユーチューバーも活躍している。税理士ユーチューバーの草分け的存在のヒロ☆税理士(チャンネル登録者数約24万人)をはじめ、オタク会計士ch(同29万人)の山田真哉氏、大河内薫のマネリテ学園(同約29万人)の大河内薫氏が、独自の口調や切り口で、インボイス制度の仕組みや対策、消費税の仕入税額控除などについて、わかりやすく解説しており、企業経営者や個人事業者、フリーランスといった幅広い層からの人気を集めている。

一方、国内の事業者が適格請求書等を発行、受領するにあたって、共通で利用できる電子インボイス・システムの構築を目指しているのが、会計業務

に簡単に探せます。

オンラインブースとオンラインセミナーをWeb上に再現し、現実の展示会に近いコミュニケーションを目指してまいります。

今回の出展企業は昨年より8社増えた33社。(4~7面に「出展企業一覧」を掲載) 会計システムベンダーやクラウドサービス、DX関連、RPA、電子取引やバックオフィス業務サポート、事務所の業務効率化、顧客拡大、付加価値業務など、未来型会計事務所への変革を強力にサポートする企業らが出展します。また今年の特長として、「社・本郷 税理士法人」や「(株)古田 土経営」など、税理士とのビジネス展開をする国内大手

システムベンダーらで構成される「電子インボイス推進協議会」(略称=EIPA)。電子インボイスの仕様を標準化し、構造化されたデータとすることに意義があるとされているが、標準仕様の策定は、「それ自身がゴールではなく、あくまでも事業者のバックオフィス業務のデジタル完結を実現するための1つのツールを用意したものに過ぎない」(平井卓也初代デジタル大臣)との話もある。

INDEX

- LINEやり取りの画像にご注意を! 2面
- 大手税理士法人が始めた会員サービス 3面
- 「保存版」見どころ満載!
オンライン会計博出展企業 4面~7面
- 税理士法人化で電子化を加速 8面

の税理士法人・会計事務所も参加します。

10月25日(月)よりプレオープンする予定の「オンライン会計博展示会場」の各バーチャルブースで、その企業の製品・サービスについて詳しく知ることができます。

また、オンラインセミナーは、DXなどに代表される変化する会計業界のこれからと会計事務所の対応などをはじめ、幅広いテーマでの開催を予定しています(表参照)。

セミナーの視聴方法は、Live配信を除き、11月4日(木)と11月5日(金)は、ご視聴者の好きなタイミングで見られる「オンデマンド配信」となりますので、お気軽にご視聴ください。

オンライン会計博では、無料の入場登録で、展示会の各出展企業ブースをご自宅から、またオフィスから、訪問していただけます。

オンライン会計博は、会計業界のデジタル化の進展をリードする存在でありたいと考えております。

新情報は、随時お伝えしていきますので、どうぞ、ご期待ください!!



※<https://online-kaikeihaku.com/>

「デジタルの日」にDX祭り<特別編> 地元企業デジタル化事例をオンライン配信

日本初の「デジタルの日」。その記念日にちなみ10月11日、(株)イワサキ経営(静岡・沼津市、代表取締役社長=吉川正明氏)と(株)アティスティックス(同、代表取締役=長岡善章氏)は共同で、地域の中小企業のデジタル化推進のためのオンラインイベント「DX祭り<デジタルの日特別編>」(写真)を開催した。

両社は、DX祭り実行委員会を発足させ、2015年から「売上アップ祭り」「DX祭り」を毎年開催し、多くの参加者を集めている。今回、デジタル庁が掲げるビジョン「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」に賛同し、「デジタルの日」に静岡県東部の中小企業のデジタル化の取り組み事例を配信した。

当日は、静岡県内中小企業7社からクラウドサービス、ペーパーレス、キャッシュレス、情報共有、分析などのデジタル化への取り組みが紹介され、「店舗に導入したPOSレジと連携する会計ソフト導入による負担軽減の実績」など、業務改善につながる経営者らの生の声をまとめて聞ける貴重な機会となった。

会計事務所を母体としたコンサルティング会社「(株)イワサキ経営」の吉川社長は、「ヒト、モノ、カネ、そしてノウハウに乏しい地元の中小企業や個人事業主が、これを機会にデジタル化への第一歩を踏み出すきっかけになれば」と話しており、デジタルで地域の中小企業を支援するという、会計業界でも珍しいこの取り組みは、大いに有意義なイベントとなった。